

2022年3月28日

多文化共生に関する提言

小平市長 様

小平市国際交流協会
理事長 安部 泰人

小平市国際交流協会は1990年に小平市が設立し、以来31年にわたって地域の国際交流の推進と市民レベルの国際交流活動の拠点とする事業を展開してきました。この間に日本における国際化は大きく進展し、国籍や民族などの異なる人々が、互いに文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きてゆく「地域における多文化共生」に取り組む事業を推し進めていくことが求められています。

2014年には小平市役所も参加した小平市国際交流協会組織検討委員会によって「小平市国際交流協会のあり方検討報告書」が提出され、当協会内で既に外国人住民の自立支援に関する多文化共生の事業が実施されていることを確認しました。従来の交流・イベントの柱から多文化共生の柱を加えた2本の柱を基本とした活動にシフトし、そのために法人化することが望ましいとまとめられています。

以来6年が経過し、法人化をすすめるために小平市国際交流協会法人化推進委員会（以下「推進委員会」）が設置され、国際交流協会運営検討小委員会（以下「小委員会」）の指導の下、2021年3月に法人化に向けて報告を行いました。小委員会では一般社団法人化を進めるにあたって小平市国際交流協会の存立目的や理念を検討し、あらためて小平市の多文化共生を進めることを確認しました。

更に2021年11月28日に「2021KIFAのつどい～みんなで考えよう小平の多文化共生～」を開催し、基調講演を踏まえて、小平市国際交流協会が多文化共生の取り組みを更に発展させるために、今後提言としてとりまとめていくことを確認しました。

以上の経過を踏まえて、小平国際交流協会は多文化共生に関する提言を以下のようにまとめ、小平市及び小平市民に対して表明いたします。また小平市国際交流協会は、多文化共生の社会の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

1. 今後外国籍住民の増加が予想される中で、小平市は、国が示した「地域における多文化共生推進プラン」を踏まえ、多文化共生に柱を置いた取り組みを進めることが望まれます。
2. 多文化共生の取り組みを進めるにあたって、小平市国際交流協会は小平市及び小平市民と連携して必要な取り組みを進めるものです。
3. 多文化共生の取り組みを進めるにあたって、外国籍住民の市民生活に関するニーズや意見を調査し、その要望や課題等を把握する必要があります。
4. 小平市国際交流協会では、多文化共生として必要な取り組みを当面以下のように提起します。
 - ①外国籍住民への言語支援（日本語及び母語）
 - ②外国籍住民への生活支援（生活相談及び情報提供等）
 - ③外国籍住民への防災支援
 - ④外国籍住民（とくに海外ルーツの子ども）への学習支援
 - ⑤外国籍住民への交流支援
5. 日本人・外国人が相互に交流し、様々な行事に協働して取り組むことが多文化共生に関する理解を深めることや小平市民一人ひとりが外国籍住民への差別や偏見をなくす啓発活動等に取り組むことが多文化共生の基本です。